

○一般会計等財務指標

計算データ(単位:千円)

資産形成度(千円/人)	資産合計A	H30.3.31住基人口B	計算式
2.281	115,494,799	50,630	A/B
有形固定資産の行政目的別割合	有形固定資産額		
①生活インフラ・国土保全 31.1%	26,908,930		
②教育 14.7%	12,720,715		
③福祉 5.5%	4,792,089		
④環境衛生 7.0%	6,067,615		
⑤産業振興 23.9%	20,679,894		
⑥消防 2.8%	2,392,433		
⑦総務 14.9%	12,895,919		
合計 100.0%	86,457,595		
歳入額対資産比率(年)	資産合計A	歳入総額B	計算式
4.0	115,494,799	28,606,113	A/B
有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)	減価償却累計額A	有形固定資産の合計B	土地等の非償却資産C 計算式
61.3%	96,770,314	86,457,595	25,425,420 A/(B-C+A)
純資産比率	純資産A	資産合計B	計算式
70.1%	80,928,150	115,494,799	A/B
社会資本等形成の世代間負担比率(将来世代負担比率)	地方債残高A	有形・無形固定資産合計B	計算式
34.0%	29,457,839	86,599,318	A/B
住民一人あたり負債額(千円/人)	負債合計A	H30.3.31住基人口B	計算式
683	34,566,649	50,630	A/B
基礎的財政収支(プライマリーバランス)(千円)	業務活動収支A	支払利息支出B	投資活動収支C 計算式
1,587,119	3,858,542	238,484	-2,509,907 A+B+C
債務償還可能年数(年)	将来負担額A	充当可能基金残高B	業務収入C 臨時財政対策再発行可能額D 業務支出E 計算式
6.5	47,071,995	14,467,295	23,291,290 886,607 19,182,561 (A-B)/(C+D-E)
地方債償還可能年数(年)	地方債残高A	業務活動収支B	計算式
7.6	29,457,839	3,858,542	A/B
住民一人当たり行政コスト(千円/人)	純行政コストA	H30.3.31住基人口B	計算式
405	20,496,057	50,630	A/B
住民一人当たり純経常行政コスト(千円/人)	純経常行政コストA	H30.3.31住基人口B	計算式
414	20,963,429	50,630	A/B
性質別・行政目的別行政コスト	経常費用		
業務費用			
人件費 19.4%	4,285,774		
物件費等 40.0%	8,861,035		
その他の業務費用 1.4%	319,748		
移転費用			
補助金等 17.3%	3,834,708		
社会保障給付 11.9%	2,636,097		
他会計への繰出金 9.9%	2,182,049		
その他 0.0%	7,448		
経常費用合計 100.0%	22,126,859		
受益者負担の割合(受益者負担比率)	経常収益A	経常費用B	計算式
5.3%	1,163,431	22,126,860	A/B